

中央・北地域部会(粟一会)

令和3年度 活動報告

障害者生活支援センターこら～れ

湯川 統郎

相談支援センター鹿田

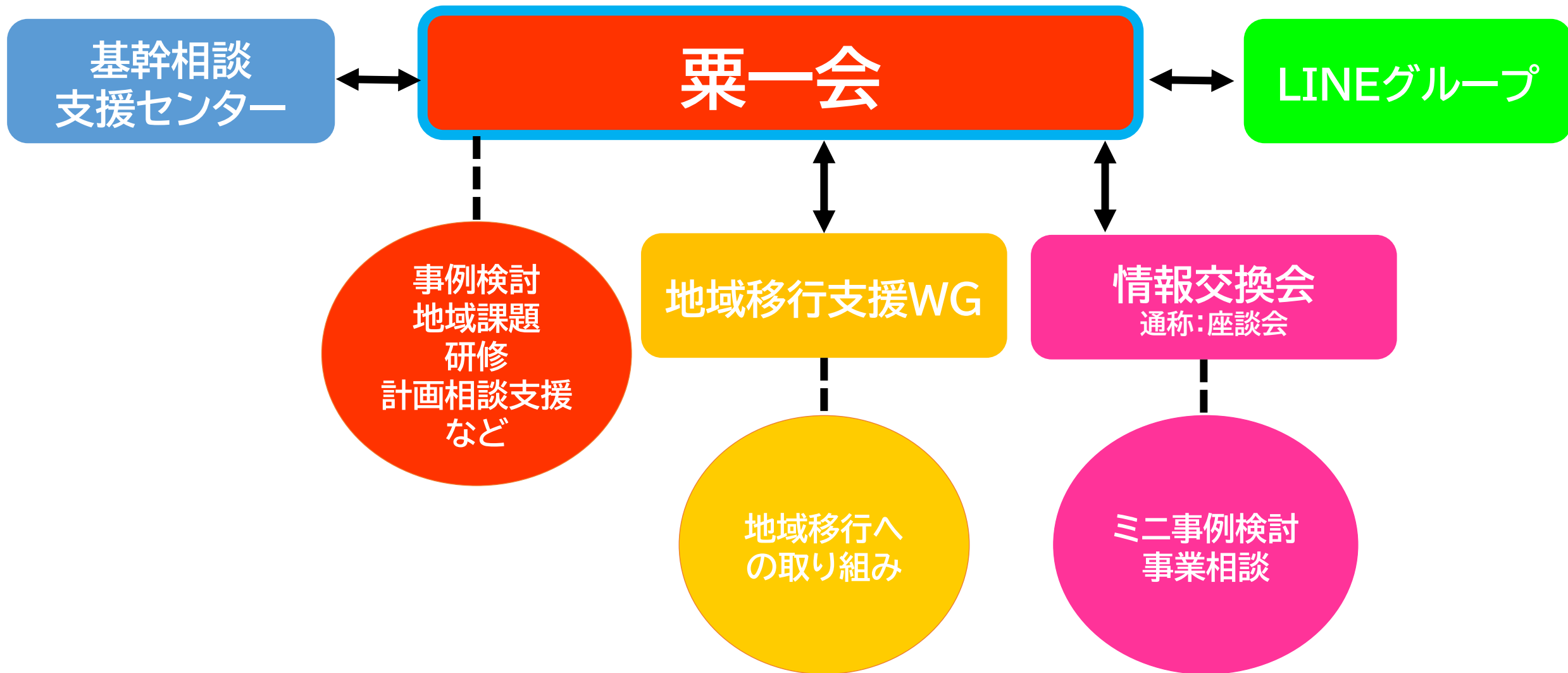
川上 俊輔

中央・北地域部会について

場 所 北ふれあいセンター3階 メンタルサポートルーム
メンバー 相談支援事業所(岡山市北区、南区、総社市)
福祉事務所、保健センター 約25名

種別	開催ペース	R3年度実績
定例会	毎月第3木曜日 13:30~15:30	11回開催
地域移行支援WG	定例会の後 16:00~ →毎月第4(金)14:00~15:30	9回開催
情報交換会	5月・8月・11月・2月の第4木曜日 13:30~15:30	2回開催

中央・北地域部会(粟一会)について



■研修会

- ① 『自立生活援助について』（11月）

講師：岡山市自立生活援助事業所連絡会

- ② 『大人の発達障害について』（1月）

講師：藤田 純嗣郎氏（岡山県精神科医療センター公認心理師・臨床心理士）

■勉強会

- ① 『グループスーパービジョンについて』（8月）

講師：岡山市障害者基幹相談支援センター センター長 村上 眞氏

- ② 『薬について（統合失調症に対する薬について）』（12月）

講師：ヤンセンファーマー株式会社

- ③ 『令和3年度報酬改定について ～相談支援を中心に～』（12月）

講師：岡山市障害者基幹相談支援センター センター長 村上 眞氏

■事例検討(GSV)

- ・ 30代女性で兄とふたり暮らし。意思疎通が難しく、関わるきっかけが持ちにくいケース。

■地域課題

- ・ 行政窓口での申請方法等にバラつきを感じる。統一してほしい。
- ・ 感染対策、手続きの効率化のため手続きのデジタル化を希望。
- ・ 車いすでのバス利用に支障があった。障害を理由に不動産を断られた。
- ・ ひとり暮らしの当事者の健康維持、持ち家の維持について。
- ・ 金銭トラブルについて。
- ・ 関係機関の福祉サービス理解について。
- ・ 相談支援専門員の質の向上。



■情報交換会

- ・年4回を予定していたが、感染拡大のため2回中止となった。
- ・参加者が少ない回もあったが、情報共有、ざっくばらんに話せる場として支持がある。

■日中サービス支援型共同生活援助評価

- ・2月に事前学習を行い、3月の地域部会で実施
- ・対象施設：1件（岡山市北区建部町）

■基幹相談支援センターとの連携

- ・6月基幹相談支援センター職員の紹介。7月センターの機能など詳細な説明。8月「GSVの基礎」についての講義。
- ・日中サービス支援型指定共同生活援助の評価について事前勉強。オブザーバーとして参加していただいた。

■地域移行支援WG

●参加事業所

岡山市こころの健康センター、岡山市障害者基幹相談支援センター
一般相談支援事業所(10事業所)

●開催頻度

<以前> 毎月第3(木)16:00~17:00 中央・北地域部会後に開催

<現在> 毎月第4(金)14:00~15:30

●R3年度振り返り

- ・ コアメンバーの拡大(基幹相談 + 一般相談3事業所)
- ・ 事前の打合せ会議を行うことで次回WGで取り扱う内容を吟味できるようになった
- ・ オンラインを併用することで参加者の増加につながった
- ・ ケースレビューやディスカッションに十分な時間をかけられるようになった

●今後の展望

- ・ 医療機関スタッフ等も交えた活動
- ・ 関連事業所との連携(保護観察所、岡山パブリック法律事務所など)
- ・ 地域移行支援パスWG、他地域移行WG(南西、東部)との連動

■成果

- ・ 相談支援専門員としての姿勢や前向きな思いを共有できた。
- ・ 研修会について、他の地域部会の関心もありオンラインを通して共有ができた。

■課題

- ・ 不参加事業所の参加促し
- ・ 地域課題について、地域部会で話し合ったその後についての報告が共有できれば、抽出しやすさにつながるのでは。